

ちょっと一息③

花日記 PartⅡ ～2階ウッドデッキから～

2階のウッドデッキにはボランティアの方々が育てた四季折々の花が咲いています。
傍らの「花日記」には多くの書き込みが・・・

“おばあちゃんのお見舞い”

おばあちゃんのお見舞いにきました。
病院にお庭があつてびっくりしてます。
春になったらもっと花でいっぱいになるだろうと楽しみです。



“私が幼い頃”

私が幼い頃、終戦後貧しい時代、母が畑より木綿を取って帰り、農作業の合間に木綿を糸につむいで、パタンパタンと機織をして、家族10人の着物、ズボンやモンペなどを夜の夜中までつくろってくれました。

木綿の花を見ると亡くなった母を思い浮かべます。木綿の花は白とピンクの可憐な花を付けます。



“精一杯咲いている花々”

寒い冬に耐え精一杯咲いている花々。

ボランティアさん達の日々のお手入れで不安な気持ち痛みに耐えることができました。

話しかけてもことばは返って来ませんが、元気で色美しく咲いてくれるだけで元気づけられます。
どの花もそれぞれに美しい。

クリスマスローズさん。初めてお目にかかりました。スマートでやさしい・・・。

何十種類もの花たち ありがとう。

これからも新しく入院する人たちを勇気づけて下さい。

不安な気持ちを癒してあげてくださいね。



“ゴールデンウィーク中に仕事”

ゴールデンウィーク中に仕事しています。

患者さんとの散歩で花日記を初めてみました。

いつもお手入れありがとうございます。

仕事中にみるお花はとてもキレイでいやされます。

患者さんもじっくりお花を見ています。

病院というせまい無機質な空間にお花がある事はすごくありがたいです。

これからもよろしくお願いします。

入院患者さんの誕生日にウッドデッキにできた花をプレゼント

当院では入院患者さんの誕生日の朝、回診の時にウッドデッキにできた花をプレゼント。

昼食時にはメッセージと共にデザートプレゼントも行っています。





その他

NST（栄養サポートチーム）

1. 設置目的

入院患者一人一人が必要としている栄養の質及び量の摂取方法を提供し、健康を早く回復できるように支援するチーム医療

2. 委員構成

西宮（医師）、尾中（薬剤師）、嶋田（健康運動指導士）、松本（言語聴覚士）玉井（看護師）、園田（看護師）、前原（看護師）、溝部（看護師）、平川（看護師）、畑（看護師）、中村（管理栄養士）

3. 2008年度の活動報告

- ・毎週火曜日 14:00～カンファレンス及び回診

（対象患者）NST介入患者、SGA評価（B、C）患者、摂食嚥下対象患者、褥瘡患者、アルブミン値3.0未満の患者、様子見患者、食事摂取量低下患者

- ・NST介入パスの変更

食事摂取量の栄養価（カロリー、蛋白質、水分）にプラス輸液の種類及び栄養価を追加し、1日の総摂取栄養を提示する

（NST介入患者数） 3件

（様子見患者数） 33件

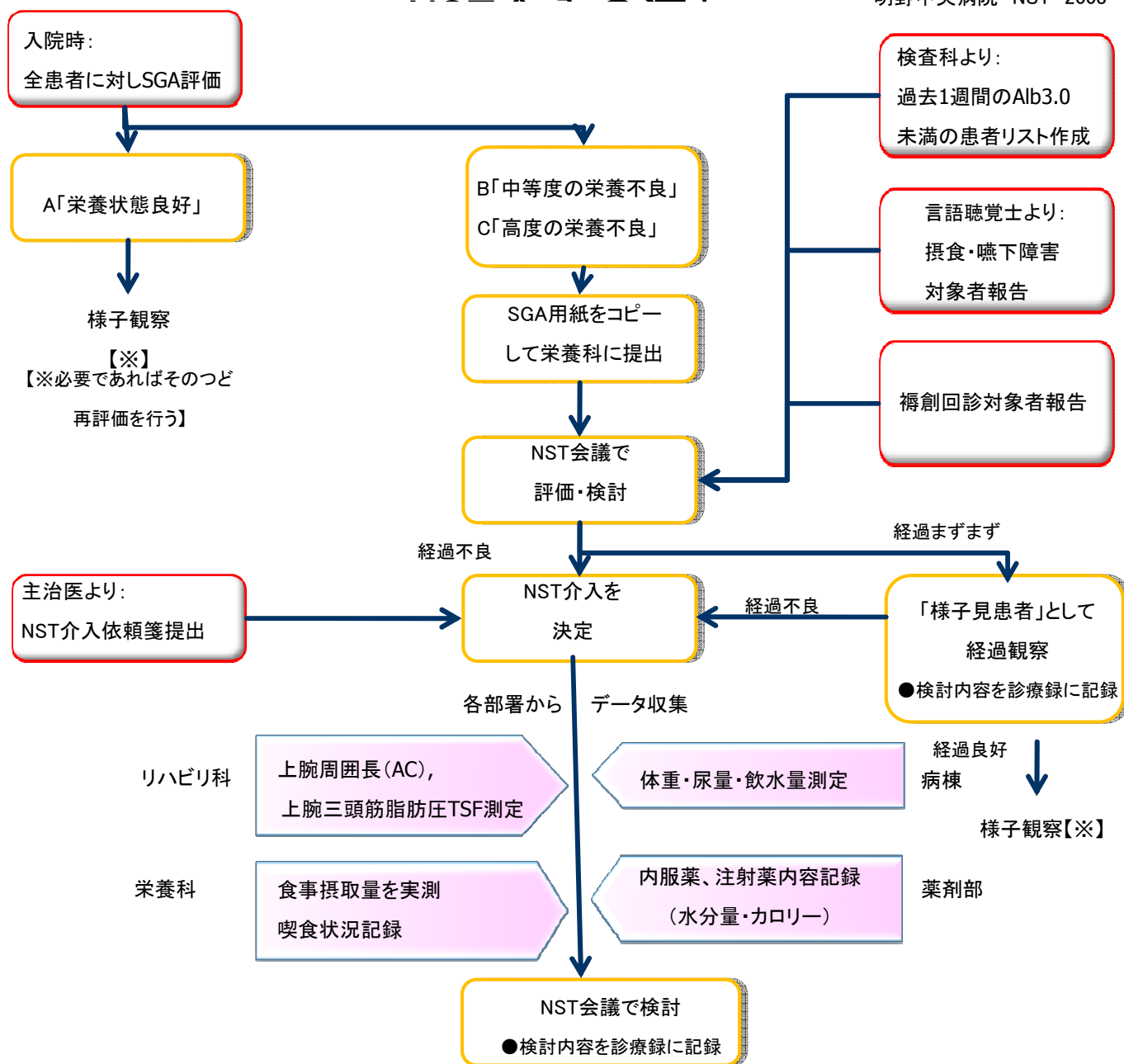
4. 2009年度重点目標

- ①対象患者の抽出をスムーズに行い、その患者の早期退院や社会復帰を助ける
- ②対象患者に対し、適切な栄養管理が行われているかどうかを判断し、最もふさわしい栄養管理を行えるように多職種で患者をみる
- ③NSTの稼働申請をする

5. 2008年度の委員会開催日

2008年：4/1、4/8 4/15 4/22 4/30 5/13 5/20 5/28 6/3 6/10 6/17 6/24 7/1 7/8 7/15 7/22 7/30 8/5 8/12 8/19 8/26 9/2 9/9 9/16 9/22 9/29 10/7 10/14 10/21 10/28 11/4 11/11 11/18 11/25 12/1 12/9 12/16 12/22 12/30

2009年：1/6 1/13 1/20 1/27 2/3 2/10 2/16 2/24 3/3 3/10 3/17 3/24 3/31



NST会議

毎週火曜日 14:00～

NSTメンバー

医師
病棟看護師
管理栄養士
健康運動指導士
言語聴覚士
薬剤師

対象

- ① NST介入患者
- ② 様子見の患者
- ③ 摂食・嚥下障害対象者
- ④ SGA評価B、Cの患者
- ⑤ 褥創回診対象者
- ⑥ 過去1週間のAlb3.0未満の患者



糖尿病相談会

1. 設置目的

糖尿病治療にあたり、本疾患に対する患者自身とその家族における基本的知識の理解普及を高める

2. 委員構成

木下院長、中村管理栄養士、外来師(当番制)、尾中薬剤部長、溝部看護師、宇都宮検査技師、
嶋田健康運動指導士

3. 2008年度の活動報告

○第19回糖尿病相談会 テーマ「ヘルシーハンバーグを食べよう～糖尿病食の体験～」

開催日：2007年5月24日(土) 場所：管理棟会議室 参加人数：10名

開催目的：500kcalの糖尿病食の実食会を開催し、工夫することで低カロリーでも美味しくかつ
ボリューム感のある食事にする事ができる事を体験してもらうと同時に、食事療法への
理解を高める

○第20回糖尿病相談会 テーマ「めじろんにつづけ～運動療法体験～」

開催日：2008年11月8日(土) 場所：リハビリ室 参加人数：3名

開催目的：最も実践しにくい治療方法である運動療法を上手に生活に組み込むことで、糖尿病改
善効果があることを、運動療法体験を通じて学ぶ。

○第21回糖尿病相談会 テーマ「糖尿病にヘキサゴン」

開催日：2009年2月27日(金) 場所：管理棟会議室 参加人数：7名

開催目的：クイズ形式で糖尿病問題を出題し、解説を通じて糖尿病の基本的な理解を深める。
また、食事療法において基本的な講話を行い、日々の生活に役立てて頂く。

○クリニカルパスの実施 0名

4. 2009年度重点目標

2008年度の糖尿病相談会開催にあたり、昨年に続きおおむね「参考になった」との回答を得た。
しかし、参加者は治療意欲の高い患者さんに限定されてくる、開催予定日等の連絡が徹底できず
当日集まらなかった等の開催に関する問題点が残された。また、2009年度はメンバーの大幅変更が
予定されているので、新メンバーによる会の定着を目指すことと同時進行で、こうした問題点解決
に取り組む。

5. 2008年度の委員会開催日

2008年：4/7、5/20、6/9、6/23、7/27、8/13、8/31、9/1、10/6、10/20、10/28、11/6、

2009年：1/26、2/16、2/23、3/2、



親和会（厚生会）

1. スタッフ構成（2009年3月）

会 長、副会長、会 計、委 員 看護部4名、栄養科1名

2. 親和会の目的

本会は会員の親睦と福祉の向上を計ると共に 明野中央病院の発展に寄与する事を目的とする。

3. 役員改選

役員の任期は毎年4月より翌年3月末までの1年間。

4. 総会

総会は通常総会と臨時総会の2種類とする。

通常総会は毎年4月に開催し、会長が招集しなければならない。

臨時総会は会長が必要を認めたとき、又は、会員の3分の1以上の要求があったとき随時開催する。

議長は会員の選出で決定する。

総会は会員の過半数をもって成立する。但し、委任状出席を認めるものとする。

5. 会計

①収入 1. 会費 2. 寄付金 3. その他 必要に応じ臨時会費を徴収することもあり得る。

②支出 1. 旅行 2. レクリエーション 3. 忘年会 4. 慶弔見舞金 5. その他

③会計年度は 毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

④会計報告は 毎年4月の総会で行う。

6. 2008年度活動報告

①花見を実施

実 施 日：2008年4月4日

開催場所：城址公園

参加人数：64名

②ボーリング大会を実施

実 施 日：2008年6月27日

開催場所：OBS ボール

参加人数：49名

③職員旅行

沖縄

実 施 日：2008年10月4日～5日

参加人数：25名



下関

実 施 日：２００８年１０月２６日

参加人数：２８名

④バーベキュー大会を実施

実 施 日：１１月１５日

開催場所：高尾山公園

参加人数：４２名

⑤忘年会を実施

実 施 日：２００８年１２月１６日

開催場所：全日空オアシスタワー

参加人数：１２５名

新聞記事



四重奏

◇…看護の日（十二日）の行事として、大分市明野中学校の生徒が十日、同市明野東

の明野中央病院（木下昭生院長）で「一日看護師体験」をした。

大分合同新聞掲載

◇…看護について関心を高めてもらおうと毎年、実施。三年生の女生徒五人が参加した。木下院長から委嘱状を受け、脈拍や血圧の測り方を勉強。足を清潔に保つための足浴の手伝いなどを体験した。手術室など院内の見学もした。

植田公民館

天使の子育て

楽しく、元気に、健やかに

5月9日（金）、植田公民館の主催講座「天使の子育て」が開講。楽しく親交を深めていた。天使の子育ては生後十ヶ月からの乳幼児が対象。リス

3人の講師の紹介があっ

深めていた。「天使の子育て」は月2回のペース、A・B二つのクラスで催され、6月には小麦粉粘土作り、七夕かざり製作を予定している。興味のある方は植田公民館097（54

5月10日（土）、明野中央病院でナイチンゲールの誕生日である5月12日の「看護の日」にちなんで一日看護師体験が開催された。今年で7回目となる。参加したのは明野中学校の3年生5名。看護師体験は午前10時の委嘱式から始まり、木下昭生病院長から「看護師さんの仕事は心

明野中央病院
一日看護師体験



ドクン、ドクン。音を聞いて血圧をうまくはかれるかな？

大分団地新聞掲載

平成20年度 第1回 明野校区 公民館講座 開講記念講演会



5月26日、記念講演会を、明野中央病院副院長 中村英次郎先生をお迎えして「運動器不安定症・腰痛とひざの痛み」をテーマにアクロスホールにて開催しました。

講演は、背骨・腰とひざの模型、とパソコンスライドを使用して病状や日ごろ気をつけることまた治療について詳しく説明されました。さらに体重を減らし運動を毎日続ける結果が素晴らしいことを服を脱いでご自身の経験を示されたのは特に深い感銘をうけました。

参加者の婦人学級と高齢者大学の受講生の皆さん約100名は自分に関わりの深い病気であるだけに身をのりだして聞き入り、質問も多く非常に意義ある講演会でした。

明野中央病院 吉田寛さんを迎え 「笑って健康・なしかのこころ」題して講演会

明野中央病院(木下昭生院長)では、吉田寛さんを迎え「笑って健康・なしかのこころ」と題して6月13日講演会を行なった。講演会では、吉田寛さんが臼杵市のお寺で生まれ育った時の思いで話として、貧しかった事や両親に温かく見守られながら暮した経験話して臼杵や大分県の方言で面白く講演していた。会場では何時も何げなしに使っている言葉ですが、実際に聞くと大変面白く講演中は笑いが会場一杯にひびいていた。



明野タイムズ掲載

吉田寛さんは、いま皆さん達が大きな声で笑っている事が「健康につながる」のです。笑いは血液の循環が良くなり、また病気もせずに楽しい人生が送られます。皆さんこれからも笑いを通して健康で楽しい人生を送って下さいと微笑みながら話していた。

ある参加者は、今日は面白いお話で大変良く笑いました、これからは今日のお話のように何時も楽しく笑いながら明るく過ごしたいですと話していた。

6日(日曜日)

富山

富山

富山

富山

入院期間 方針で異なる

病院の
実力

大分編

腰痛の手術

高齢化と共に増える腰痛。「くらし健康」では、高齢者に多く、背骨の中の神経の通り道が狭くなる「脊柱管狭窄」の年間手術50件以上の施設を掲載したが、大分版では、全回実施の手術件数と、平均入院日数を紹介する。

手術件数は、手術の経験

病院の実力「腰痛」

医療機関別2007年治療実績（読売新聞調べ）

医療機関名	脊柱管狭窄		椎間板ヘルニア		手術率
	手術件数	平均入院日数	手術件数	平均入院日数	
総合せき損セ	381	34	148	28	27
九州厚生年金	112	9.5	32	8	-
九州中央	109	18	21	7	26
久留米大	92	27	19	17	12
おおみや整形外科	86	26	45	13	12
北九州市立医療セ	80	14	48	10	26
厚生会佐田	76	30	95	26	9
福岡整形外科	44	33	53	29	5
産業医大	44	16	17	12	5
かい整形外科医院	42	43.5	12	24.5	5
三菱化学	11	26	1	14	-
福岡リハ	10	36	14	28	2
新古賀	3	18	0	-	1
佐賀社会保険	80	15	68	11	19
県立好生館	15	34	14	21	9
唐津赤十字	10	27	4	30	6
長崎労災	151	12	182	10	13
長崎三菱	121	28.9	197	22.7	13
長崎原爆	91	16	57	16	-
管整形外科	48	28	44	21	5
島原整形外科西村ク	46	38	36	38	5
増田整形外科	18	21	12	14	2
熊本中央	300	12	80	10	19
成尾整形外科	292	20	202	18	55
中村整形外科	130	14	63	12	9
熊本整形外科	122	28	146	28	29
国・熊本医療セ	92	14	31	7	25
熊本大	40	14	13	12	22
熊本機能	20	43	19	33	-
杵築市立山香	245	24	57	18	14
大分大分整形外科	184	21	95	14	11
明野中央	42	20	24	9	7
永島記念	14	35	6	21	5
宮崎大	77	25	26	14	-
潤和会記念(脳)	38	18	12	14	51
宮崎社会保険	30	18.7	38	18.0	9
整形外科前原	16	60	21	40	2
南風	132	26.4	78	19.1	12
やなせ整形外科	132	14	26	14	12
整形外科米盛	111	28.9	99	22	26
鹿児島赤十字	64	22	35	8	15
鹿児島大	30	25	3	10	-

病院追加 6月1日の「病院の実力 脳卒中治療」で、下記の医療機関を追加します。数字は左から、脳卒中患者数、破裂脳動脈瘤(りゅう)の開頭手術数、脳血管内治療数、リハビリスタッフ数。

福岡徳洲会(福岡) 548 41 19 44
北九州総合(福岡) 294 9 0 27

をはかる基本的な数値で、手術率(%)は腰痛患者に占める脊柱管狭窄と、椎間板ヘルニア両手術の合計の

割合。手術と保存療法の比率を示している。各施設の治療に対する考え方や地域における役割をうかがう

えでの目安になる。各施設の特徴は入院日数にも表れ、ばらつきが大きかった。脊柱管狭窄では、

全国平均が20・4日。最短は3日、最長は60日だった。椎間板ヘルニア手術では、

全国平均が14・8日。最短は2日、最長は74日だった。日本脊椎椎病学会理事の長瀬地臣(さん)(福岡県立医大教授)は「高齢者の

読売新聞掲載



パブリカを使って手術体験



パブリカを「執刀」
明野中2年生が
病院で職場体験
大分市明野中学校（鶴田茂校長）の二年生三百三十三人は、九日から十日までの三日間、市内八十三の事業所で職場体験学習をした。

同校近くの明野中央病院では、若生彩佳さん（ミ）顔写真右と広瀬千恵さん（ニ）同中、永利美咲さん（ロ）同左が体験。二人は病室のシーツの交換、患者の足浴の手伝いなどをした。

手術室では、パブリカを患者に見立てて「執刀」し、メスの切れ味に驚いていた。また、顕微鏡を使ってパブリカの種を取り出す「治療」に悪戦苦闘していた。

若生さんは「大変だけど、楽しかった。将来はここで働きたい」。広瀬さんは「看護師になりたいので、学んだことをしっかり覚えておきます」。永利さんは「最初は緊張したが、患者と触れ合えてうれしかった」と感想を話した。

大分合同新聞掲載

救急の日行事

▽大分市消防局 九日、市内の看護師五人を「一日救急隊長」に委嘱した。

（写真）

関貞征局長が、盛田明美さん（明野中央病院）、衛藤さおりさん（大分岡病院）、永尾哲子さん（大分こども病院）、芝日出美さん（佐賀関病院）、佐々木綾さん（天心堂へつぎ病院）に委嘱状を手渡ししてあいさつ。

五人は、救急隊員と意見交換した後、一一九番を受



ける通信指令センターで、通信員が対応する様子を見学。街頭で「救急の日」をPRし、救急車の適切な利

大分合同新聞掲載

用を呼び掛けた。
同局によると、市内の救急出動件数は年々増加している。昨年一年間は一万四千五百六十件で、急病が半数を占めた。

この後、聖マリア病院（久留米市）の吉田健治整形外科部長が講演した。

競技中に起こりやすい症例は

国体控え大分市で外傷研究会

第七回大分外傷研究会が大分市のホテルであった。大分国体の開催を目前に控え、熱中症やねんざ、脱臼など競技中に起こりやすい症例を整形外科医が発表し、検討した。医師、看護師らが参加。県厚生連鶴見病院



症例を発表、検討。熱心に話を聞く参加者

大分大学付属病院の原一医師は肩関節の後方脱臼、大分三愛メディカルセンター（大分市）の内田研医師は足首のねんざ、麻生の整形外科クリニック（同）の麻生邦一院長は指の脱臼骨折について発表した。会場からは「整備はその場で完結ではなく、病院に搬送し、正確な診断をしてから処置すべき」との意見があった。

大分合同新聞掲載

（別府市）の嶋田直宏医師は熱中症について発表した。嶋田医師は「熱中症は体温の異常上昇と脱水状態が合併した状態だが、三六度台の体温でも起こり得る。また、水分補給が十分でない、運動後に発症することもある」と説明。「選手だけでなく観客も注意が必要。日傘や帽子、うちわ、締め付けのない服を着るなど暑さを避け、水分と電解質（ミネラル、塩分）を補給してほしい。スポーツ飲料はナトリウムを含むものを飲むのがいい。体を冷却する際は頸部、腋、鼠径部を氷などで冷やす」と説明した。

明野中央病院健康セミナーのお知らせ

“華麗なるヒコーキ野郎”85歳現役パイロット

超人飛行機乗りが語る「戦争と平和と健康」

講師：高橋 淳（日本飛行連盟名誉会長）
 日時：10月18日 18:00～19:30
 場所：あけのアクロスタウンアクロスホール
 参加費：無料（整理券が必要）
 主催：明野中央病院



明野タイムズ掲載

明野中央病院（木下昭生院長）は、高橋淳氏（日本飛行連盟名誉会長、85歳）を迎えて健康セミナーを開催します。

高橋氏は、戦中から戦後、現在まで日本のパイロット第一人者として活躍、戦争、飛行機、そして健康作りまで、豊富で貴重な経験をユーモアを交えて語る楽しい講演会です。「僕の操縦は昨年より今年の方が進歩していると思う。そう思えなくなったらプロ引退です」身長180cm、体重63kg。生涯現役を貫く超人の大空からの壮大なメッセージをお楽しみ下さい。

お問い合わせ先

明野中央病院 里谷 TEL 558-3211



中村英次郎
副院長

大分市の明野中央病院

手の外科学会の 基幹研修施設に

大分市の明野中央病院が日本手の外科学会の基幹研修施設に認定された。

基幹研修施設は①（外傷や疾患など）手の外科の手術が三年間平均して百例以上ある②手の外科専門医が常勤している③研修カリキュラムに基づく研修ができる④などが認定の要件。

同病院は年間二百例以上の症例があり、中村英次郎副院長が日本手の外科学会の専門医。中村副院長は「手は機能が大切な箇所。それぞれの患者の仕事や日常生活まで見ながら治療を行う。そのような治療ができる若く優秀な専門医の養成とともに、手の専門的なリハビリができるハンドセラピストの育成にも取り組み、県内の手の外科治療の発展に貢献したい」と話している。

県内ではほかに麻生整形外科クリニック（大分市）が同施設に認定されている。

日本手の外科学会は、手に関する外科の進歩、発展を図るため、学術集会や専門誌発行、専門医や研修施設の認定などを行っている。

大分合同新聞掲載

明野中央病院健康セミナー

“華麗なるヒコーキ野郎” 85歳 現役パイロット

生涯現役、反骨の超人飛行機乗りが語る「俺流！人生の歩き方」

講師：高橋 淳 氏（日本飛行連盟名誉会長）

日時：10月18日（土） 18時～19時30分

場所：あけのアクロスタウン3階 アクロスホール

参加費：無料（整理券が必要です）

整理券の配布は、明野中央病院受付

あけのアクロス総合案内・大分銀行明野支店横通路

明野校区公民館・明治明野公民館にて

お問い合わせは、明野中央病院まで

TEL 097-558-3211 FAX 097-558-3709

おおいたイベント案内

大分合同新聞掲載

大分合同新聞掲載



中村 広子さん

障害者スポーツの「父」
中村博士夫人・広子さん

障害者スポーツ発祥の地、大分。その礎を築いた故・中村裕博士（太陽の家創設者）の夫人、広子さん。中村裕記念身体障害者福祉財団理事長

「先人の積み重ね、開花」

「1961年に初めて開いた県大会では、けた履きで手ぬぐいを腰に巻いた選手たちが入場行進をしていました。今の選手は立派。『障害者スポーツもここまで認知されたのか』と思うと感慨深いですね」

「障害者スポーツは競技性が高まり、プロ選手が活躍する時代に。競技種目も増えて、さまざまなスポーツに挑戦できるようになった。『二気になスポーツに挑戦できる機運が盛り上がりつつある』と社会に訴え続ける」と中村博士。「今日のこの日を、きっと主人も喜んでいてでしょう」

明野タイムズ掲載

別保校区七輪の街づくり 健康講座開催

主催 つるさき七輪の街づくり
共催 別保校区公民館

別保校区七輪の街づくり健康講演には、別保校区七輪の街づくり推進委員会（貞松統一会長）主催と、別保校区公民館（佐藤義憲館長）共催で、明野中央病院木下昭生院長を迎えて、「日々の健康づくり」と題して講演会を十月五日別保公民館で行なわれた。

明野中央病院
木下昭生
院長

講演会では糖尿病を主として講演し、糖尿病は高血糖の状況が続く病気で、一口渇・多尿・体重減少等の病状があります。軽症では無病状ですと話し、(二)糖尿病にならない方法として、食事療法や運動療法等があります。(三)糖尿病は他人事ではありません。今の食習慣や生活習慣の見直しで、自己管理ができれば普通の人より健康に生活出来ますと講演していた。

ある出席者は、今日の講演で自分に当てはまる病状があります。これからは食習慣や生活習慣の見直しで健康管理に務めますと話していた。



現役最高齢パイロット

大分市の明野中央病院は十八日 助、パトロール、血液輸送などの午後六時から、あけのクロススタ ボランティアに従事。現在までのウン三階アクロスホールで健康セ 飛行時間は通算二万四千五百時間 ミナーを開く。八十六歳で現役最 に達する。

高 齢 の プ ロ パ イ ロ ッ ト 高 橋 淳 さ ん 毎 年 の 航 空 身 体 検 査 は、す べ て が、戦争と平和、健康などをテ 理想的な数値。腹八分目の食事、 マに講演する。 入浴後の冷水シャワー、一年中半

86歳 高橋淳さんが講演

あす 大分市

高橋さんは十八歳で予科練に入 袖半ズボンのパジャマで七時間以 隊。戦況の厳しい南方戦線や沖縄 上の睡眠は欠かさないことが健康 戦に配属された。予科練の同期は の秘訣という。東京在住。日本飛 八割五分が戦死したという。戦後 行連盟名誉会長。聴講は無料だが は日本飛行連盟に参加し、民間操 整理券が必要。問い合わせは同病 院(☎097・558・3211、 十字飛行隊長として災害時の救 事務部里谷さん)へ。

明野中央病院 華麗なるヒコキ野郎 高橋淳さんを迎えて健康セミナー



高橋淳さんを囲んでシンポジウム

明野中央病院(木下昭生 院長)は、日本飛行連盟名誉 会長高橋淳さんを迎えて健 康セミナーを、十月十八日約 三〇〇名の参加であけの ア ク ロ ス タ ウ ン で 開 催 し た。

健康セミナーでは、大正十 一年に生まれ今年八十六歳 で現役のパイロット、昭和十 六年十八歳で予科練に入隊、 敗戦濃厚な沖縄戦に鹿児島 出水から飛び立った経験話 しや、敗戦後赤十字飛行隊 長として、災害時の救助や血

液輸送等に活躍していた。高 橋淳さんは、私の健康管理は、 腹八部目の食事と入浴後の 冷水シャワー、一年中半袖半 ズボンのパジャマで、毎日七 時間は必ず睡眠を取る事で 健康管理をしていますと話 していた。またシンポジウム では、パネリストに高橋淳さ んと木下昭生院長と中村英 次郎副院長で、「毎日をイキ イキ、カッコ良く過ごすため に健康って何だろう」と題し て、高橋淳さんの健康管理や、 病院で患者さんの病気に対 しての食事法や、適度の運動 の勧め等いろんな討議がさ れていた。

ある参加者は、高橋淳さ んの偉大な体験話や、明野中 央病院は地域医療にいろん な事に貢献されている事を 知り明野に住んでいる私は 安心しました。また今日の健 康セミナーで学んだ事を生 かしながら毎日を楽しく過 ごしたいですと話していた。

明野中央病院でクリスマス会



明野中央病院（木下昭生院長）では、明野中央病院ボランティアの会（志水篤信会長）の主催で十二月六日クリスマス会を行なった。会場には、入院患者さんやその家族の方々等沢山の



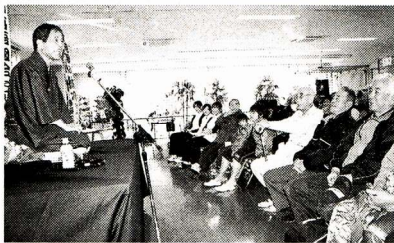
方々が参加し、演芸では明野ひよつとこ同好会のフラダンス、益守昌子さん、渡辺節子さん、藤田百合子さん三名の「玄海船唄」、小坂元幸人さん、ミチ子さん夫婦の「ひとすじ」の見事な民踊と、星野邦昭さんの「恋女房」のカラオケ、また小学生も参加したひよつとこ踊り、最後には、参加者全員でジングルベルを賑や

明野タイムズ掲載

かに歌いながら楽しい一時を過ごしていた。
ある患者さんは、入院して三カ月ですが、こんなに楽しいクリスマス会が三回目だとお聞きしてびっくりしましたと話していた。
ボランティアの会の志水篤信会長、今年もいろんな方々のご協力を頂いてクリスマス会が大変賑わった事に大変感謝していますと話していた。

笑いはいのいい薬 明野中央病院 で「新春寄席」

大分市明野東の明野中央病院（木下昭生院長）は十日、同病院で「新春寄席」を開催した。患者や地域住民に楽しい時間を過ごしてもらう目的で初めて企画。住民ら約百人が訪れた。県南落語組合大分支部（関三千男支部長）のメ



落語を披露する県南落語組合メンバー（左端）

ンバー四人が、「老婆の休日」「千早振る」など



を披露した。安東時男さんは「初天神」を、豊かな表情と大きな身ぶりで演じた。父と子が団子のたれをなめる場面では爆笑が起き、笑い過ぎてこぼれた涙をぬぐう人も。
石橋龍二さん（八〇）同市明野南・顔写真「はいっぱい笑った。心のいい薬になった」とにっこり。

大分合同新聞掲載



<http://www.coara.or.jp/~akenohp/>